

令和3年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標	・感性豊かで、創造力に富み、社会的使命を自覚し、社会を生き抜く力を持つ人間の育成。 ・郷土を愛し、山形の未来をひらく、健康で実践力のある工業人の育成。
--------	--

本年度の重点目標	1 明瞭で積極的な学校運営
	2 学習指導の充実
	3 生徒指導の充実
	4 進路指導の充実
	5 地域産業界と連携した工業教育の推進
	6 危機管理の徹底
	7 働き方改革への取り組み
	8 キャンパス制について
	9 新しい校舎の建築に向けて

達成度	A	達成
	B	概ね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

目指す学校像	(1) 地域に根ざし、地域を愛し、地域に愛される学校 (2) 一人一人の個性を生かし、工業分野で活躍できる将来のプロフェッショナルを育てる学校 (3) 産業・社会の変化を捉えた教育活動を展開し、自己実現できる学校
目指す生徒像	(1) 自分の可能性を信じ、自己実現に向かって努力する生徒 (2) 失敗を恐れない情熱と挑戦力に満ち溢れる生徒 (3) 心身ともに健康で、礼儀正しく、勤労意欲に富む生徒 (4) 豊かな感性と社会性、国際感覚を持つ生徒 (5) 郷土を愛し、地域に貢献する生徒
目指す教師像	(1) 教育公務員としての使命感を自覚し、プロ意識が高く、常に学び続ける教師 (2) 生徒、保護者、地域社会から信頼される教師 (3) 生徒の能力と個性を生かし、社会で活躍できるプロフェッショナルを育てる教師

自己評価						学校関係者評価
番号	評価項目	具体的方策（令和3年度）	主な数値目標	達成度	今年度の成果と課題 次年度に向けた課題と改善策など	意見・要望・評価等
1	学校運営	(1)「目指す学校像・生徒像・教師像」の実現に向けて、全職員・全生徒の共通理解の下、協働実践による明るく生き生きとした教育活動の実現を目指す。 (2)開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域の連携を深める。 (3)教職員一人ひとりが自己研鑽に励み、教員力の向上に努める。	・PTA関連の各種会議では出席率60%以上を目指す。 ・月1回はHP更新し、本校の情報を広く発信する。 ・全職員が参観できる授業研究週間を2週間設定し、教師の授業力を付ける。 ・教員の50%以上が外部の研修会に参加することを目指す。	B	コロナ禍なので席の間隔を十分に取リ、第1回のPTA評議員会と第2回PTA評議員会事前打ち合わせ会議を行った。それ以外のPTA行事は中止または書面会議として行った。本校のHPの更新は月1回以上行い、本校生徒の活躍を数多く更新した。教員の外部研修に関しては、62%の教員が外部の研修会・講習会に参加した。今年度は教員全員にパソコン用カメラとヘッドセットが支給されたこともあり、参加者のうち82%がオンラインでの研修会であった。来年度より生徒一人に1台タブレットが支給になるので、管理や使い方を早急に協議し、決定していく必要がある。先生方にもタブレットが支給されることになったので使用方法について研修を深化していく必要がある。	・SDGsやウェルビーイングの視点が必要。 ・文科大臣が「ものづくり人材の育成」を掲げて力を入れていくと発言していた。我が国の工業教育の重要性がいよいよ増している。 ・生徒のアンケートに「もっとものづくりがしたい」とあり、DX社会におけるものづくり学習の充実企業にとって頼もしい限りです。 ・第20回課題研究発表の内容は、時代に合った面白いテーマでIoTを使いこなし「皆でアイデアを出し合いながら協力しながら」という様子が良く出ていて頼もしく思いました。 ・今”校則”は大きく変化している時代です。議論大いに結構です。 ・進学した生徒に対してその能力を地元で発揮できるように進路指導をぜひお願いしたい。 ・工場見学やインターンシップだけでなくその企業の課題を抽出し、それに対する課題研究を行うと実体感が伴い達成感と自信につながると思います。 ・各種想定される危機に自ら備えると同時に高校生として地域にどういうことができるのかすべきなのか話し合ってみたら如何でしょうか？ ・大学進学者が益々増えると予想されるために実業高にとっては生徒集めが益々不利になると思うのでいかに魅力ある高校を作るかがカギになると思います。 ・トップセミナーの回数を増やしてはいかがでしょうか？ ・通学路について交通量が多いため何度も危険な目にあったそうです。横断歩道を渡ろうとする車が静止してくれない。 ・評議員会をZOOMで開催してはいかがか？ ・発表や表現の機会を増やすよりも発表や表現の指導（演出の仕方、しゃべり方）をきちんとやってほしい。 ・外部講師でも可。 ・元気、自信、活躍している生徒を見たい。 ・長期休みの期間中にアルバイトを薦めてはどうか？ ・本校出身の就職3年目の先輩から講話をしていただく。 ・インターンシップ以外にも地元企業企業の見学、訪問をもっとさせてはどうか？ （夏休みなど） ・いじめアンケート、本人・保護者からのイメ相談については問題事例は全て、学校評価委員会などに報告した方がよいのではないか？
2	学習指導	(1) 面白く、わかりやすい授業を工夫するとともに、主体的・探究的な学びに向けて授業改善を進める。 (2) 生徒の興味・関心・感動を大事にした授業改善を行い、生徒が自主的に学習に取り組む意識を醸成する。 (3) 学びを通して、思考力、判断力、表現力を高め、人間力豊かな生徒を育成する。	・年間出席率99%以上を目指す。 ・生徒の授業満足度3.1以上を目指す。 ・入学定員充足率100%を目指す。	B	年間出席率はコロナ関連を出席停止扱いとして99%以上達成し、授業総合評価は学校平均3.5で目標を達成した。また、本年度入学生は79人で定員充足率は66%であった。今年度からコロナ禍での学びの保証のためにオンライン授業をできるようにし、延べ47名、36コマ分の授業を行った。電気工事士1種等難関資格取得もでき、来年度も挑戦する生徒を育成する。	
3	生徒指導	(1) 生徒一人ひとりの規範意識と社会性を高め、家庭・地域及び関係機関との連携を密にして、問題行動やいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 (2) キャリア教育の視点により、生徒一人ひとりの特性に応じた日常生活指導と教育相談活動等の充実を図る。 (3) 特別支援教育を推進して、組織的対応と個に応じた支援体制を充実させる。	・問題行動「0」・盗難「0」をめざす。 ・事前指導を充実させ、いじめ「0」もしくは早期解決100%を目指す。 ・各活動出席参加率100%を目指す。 ・部活動において、東北・全国大会出場を目指す。 ・交通重大事故発生件数「0」を目指す。 ・生徒一人ひとり年3回以上のボランティア活動参加を目指す。	B	問題行動は4件、盗難紛失は4件(うち自転車2件)であった。いじめ認知に関しては、現在までに3件報告されている。担任・学年団の速やかな対応により早期解決が図られている。生徒同士のより良い人間関係の構築やSNSも含めた言葉の使い方やコミュニケーション能力に係る指導の必要性を強く感じた。コロナ禍による制限はあったが生徒会活動や部活動は概ね実施できた。全国大会の直前の中止は残念であったが、生徒はしっかり活動できたと思う。交通事故は3件で、重大事故はに関しては「0」で目標達成できた。全校生徒で校外の除草・清掃活動を実施できた。	
4	進路指導	(1) 進路希望を高く持って、それを達成できる人材を育成する。 (2) キャリア教育総合実践プログラムに基づき、計画的、組織的、継続的なキャリア教育の充実を図る。	・希望進路達成100%を目指す。 ・民間就職と進学の1回目での合格をそれぞれ85%、90%以上を目指す。	B	進路未決定者が若干残っているが、希望進路についてはほぼ内定・合格した。民間就職第1希望(1回目の受験)での合格率は88.8%、進学(第1希望)の合格率は85.5%であった。さらに達成率上げるために、より効果的な指導を実践していきたい。	
5	地域と連携した工業教育	(1) ものづくり教育の質を向上させると共に、新たな時代の要請に応え、地域の発展に貢献できる工業教育を推進する。 (2) 課題研究や外部との共同研究の充実を図り、主体的な課題解決力と表現力を備えた人材を育成する。 (3) 資格取得等に挑戦させ、知識、技術、高い専門性を備えた人材を育成する。	・各種資格取得に意欲的に挑戦し、技能検定では60%以上の合格率、および30名以上の合格者を目指す。 ・ものづくりコンテストや各種大会に参加し、県大会上位入賞を目指す。 ・課題研究では各科7つ以上のテーマで研究を行い、各科研究発表会を通して、取り組み内容を保護者や企業、地域の方々に知ってもらう。 ・公開講座など地域に開かれた取り組みを各科1回以上実施し、専門分野の教育活動を広く地域にPRする。	B	・生徒は様々な資格取得に意欲的挑戦している。特に技能検定においては受験者が例年より大幅に増加し、前期は40名受験、25名合格、合格率62.5%、後期も78名が受験済、今後発表であるが多数の合格者が見込まれている。 ・メカトロアイデアコンテスト県大会優勝、マイコンカーラリー県大会優勝など各種コンテストで顕著な活躍がみられた。 ・探究型課題研究発表会に参加し、地域社会部門で「優秀賞」を得た。各科の課題研究発表会は、コロナ禍で保護者や外部の方々に公開できなかったが、内容の濃い発表が多くあった。 ・今年度もコロナ禍の制約はある中、体験教室や出前授業など、地域に根ざした活動も実施できた。	
6	危機管理	(1)防災意識の徹底、不審者への対応及び学校情報管理の理解と徹底を図る。 (2)生徒及び教職員の心身の健康管理に努める。 (3)公金等各種会計処理を適正に行う。	・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・救急対応に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・心身の健康に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・公金等執行状況報告に合わせ会計指導を実施する。	B	コロナ禍ではあったが、春と秋の2回、大規模地震後火災を想定し防災避難訓練を行った。救急対応においては、1.2学年を対象にAED講習会を消防署員の方を講師に招き行った。全校生徒を対象に思春期セミナーを行った。会計処理については適正に行った。	
7	キャンパス制	(1) 相互交流の意義を踏まえて、キャンパス制の取り組み内容について研究する。	・課題研究の成果を相互で発表することで、両校の理解を深める。 ・生徒会など生徒同士の交流を年2回以上行い、交流を深める。 ・協働的で深い学びをテーマに、研修会と互いの授業参観を行い、教員の授業力向上を図る。	D	今年度も新型コロナ感染拡大防止のため、両校が一堂に会しての合同課題研究発表会や文化祭での相互交流など行うことができなかった。特に合同課題研究発表会は昨年度初めて計画された企画だったが、今年度も実施には至らなかった。相互理解や学びの多様性を知る上で貴重な体験となったはずで、残念である。来年度こそは対策を講じつつ開催に漕ぎつけたい。	

自己評価及び学校関係者評価の改善点、他	新型コロナ感染拡大防止のために第2回学校関係者評価委員会は書面会議とした。学校関係者評価委員の方々からアンケートに回答いただき、学校に対する温かい励ましや心強い応援の言葉とご意見、要望、評価を頂いた。令和3年度は昨年度よりも新型コロナ感染拡大防止をしっかりと行いながら学校行事を行ない成果をあげた。
---------------------	---